
ある少女の詩

綾野雅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある少女の詩

【著者名】

Z7770D

【作者名】

綾野雅

【あらすじ】

ブログに掲載していた短い詩です。なんとなく浮かんだ想いを詩にしているのでつっこみどころは満載かもしません…（汗）。

せんせいはいました。

「この世界にいる人は みんな 由ら望んで生まれてきたのだよ
とっても物知りな神様があるべき道を見せてくれるんだ
神聖で邪悪な鏡の中に みんなの世界を映し出して
それで神様は尋ねるんだよ

『これがあなたの人生です。それでもこのまま生まれますか。
全てを受け入れる勇気がありますか』

その時勇気を誓つた人が 今この世界にいるんだよ

そんなの しらない とおもいました。
こんなに まいにち つらいのに。
それをしりながらうけいれるなんて
そんなの まちがつてるとおもいました。

せんせいはつづけます。

「知らないのではなく 忘れてしまつたのさ。
先に待ち構えている辛いことを
覚えて生きるのは耐え難いから」

そんなの おかしい とおもいました。
わすれてしまわねばならないほど
つらい みらい をもとめるなんて
そんなの ばかげている とおもいました。

せんせいはそれでも言いました。

「馬鹿だと知つても受け入れる
それだけの理由があるのだよ。
どんなに辛い未来でも

やらねばならないことがある。
皆 その為に生まれてくるのを

やりとげなければならぬ 何かのために」
やりとげなければならぬことがある。

そんなの うそ だとおもいました。
やりとげなければならぬにかなんて
わたしには かんがえもつきません。
こんなに まいにち なきたくて
きえてしまいたい とおもつてゐるの』。

そのよる わたしはゆめをみました
おおきな かみさま がたつていて
すてきでいやらしげかがみ をみせてくれました
めをそむけたくなるそのなかに
わたしはあのひと をみつけました

かみさまは わたしに たずねました
『これがあなたの人生です。それでもこのまま生まれますか。
全てを受け入れる勇気がありますか』

わたしは まよわず じつ いいました
わたしはあのひと をたすけたい
いつも えがお をたやさぬように
そのためなら わたしは

せんせいが言いました。

「この世界にいる人は みな 白い壁で生まれてきたのだよ」

私はやつぱり叫びます。

そんなのは嘘だから

早くここから消え去りたいと

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7770d/>

ある少女の詩

2010年10月28日03時45分発行